

チャペル週報

わたしはお前たちに新しい心を与え、
お前たちの中に新しい霊を置く。
わたしはお前たちの体から石の心を取り除き
肉の心を与える。
(エゼキエル書 36 : 26)



2005 5 9 ~ 5.13 No.4
関西学院宗教センター

チャペル・スケジュール

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

- 5月9日(月) 神 宮本幸子(M2)
社 キリスト教とわたし Ruth M. Grubel(宣教師)
経 経済と人間 山本栄一(経済学部教授)
院 永田雄次郎(文学部教授)
-
- 5月10日(火) 神 H A B I T A T
文 田淵結(宗教主事)
法 讚美礼拝 関西学院ゴスペルクワイア"Power Of Voice"
経 経済と人間 山崎幸治(経済学部教授)
商 歌うチャペル: 5月の讚美歌
総 Eco Habitat Kwansei Gakuin 総合政策学部学生
-
- 5月11日(水) 神 アジアサンデー
文 アンドレアス・ルスターホルツ(宣教師)
社 讚美礼拝 関西学院ゴスペルクワイア"Power Of Voice"
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
経 経済と人間 春井久志(経済学部教授)
商 上ヶ原ハビタットによるチャペル
理 「私の信心 - 人間・自然への畏敬」北橋忠宏(理工学部教授)
総 中條道雄(総合政策学部教授)
-
- 5月12日(木) 神 礼拝のうた
法 「一粒で300メートル」栗林輝夫(宗教主事)
経 English Chapel Michael Lessard-Clouston(宣教師)
商 English Chapel Richard Stinson(宣教師)
総 Eco Habitat Kwansei Gakuin 総合政策学部学生
-
- 5月13日(金) 神 畑昌子(M2)
文 讚美礼拝 関西学院聖歌隊
社 キリスト教とわたし 藤井美和(社会学部助教授)
経 経済と人間 松枝法道(経済学部助教授)
商 讚美礼拝 関西学院ゴスペルクワイア"Power Of Voice"
理 「もう一つの生き方」松木真一(宗教主事)
-

ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20~8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

5月13日(金) ペンテコステを覚えて(5/15) 水野隆一

総合政策学部早天祈祷会 毎木曜日 午前8:40~ 於 宗教主事室

"Can't you master baby?"

ペンテコステを覚えて

Andreas Rusterholz

表題の英語の言葉は、氣志團というグループのある歌からの引用です。和製英語とすら呼べないこのフレーズの意味は、不可解としか言いようがありません。しかし、この歌をじっくり聞いてみると、何となく分かるような気もしてきます。この歌のメロディーラインにはぴったり合っているので、耳に違和感なく入ってきます。意味不明なフレーズが、耳から“消化”され脳に入り込む。これもまた理解することの一形態ではないでしょうか。理解できるということ自体、ある意味で奇跡のようです。

新約聖書によると、およそ2000年前にそういう奇跡、すなわち「理解の奇跡」が起こりました（使徒言行録2章1節～42節）。エルサレムに滞在中の人々が「だれもかれも、自分の故郷の言葉で使徒たちが話をしているのを聞いた」のです。教養のない、アラム語しか話さないはずの使徒たちが、突然様々な国の「言葉で神の偉大な業を語った」のでした。以前に話が通じなかった人同士が、理解を妨げる壁が打ち壊されてしまったかのように、話が通じるようになりました。

このような現象を目のあたりにした当時の人々は、どう思ったでしょうか。呆気にとられて、途方に暮れた者もいたし、弟子たちが新しいぶどう酒に酔っていると言ってあざける者もいました。聖書の箇所にある説明では、一同は「聖霊に満たされた」のでした。お互いに話が通じるようになったのは、努力がもたらした結果ではなく、与えられた贈り物です。聖書の場合、それは神の贈り物であり、神に関する理解は、神のこの“恵み”によってのみ得られるのです。ペンテコステはこの贈り物、つまり神の“恵み”である聖霊を覚える日です。

Can't you master baby? 日常の生活でも、話が本当に通じる相手を見つけるのは、奇跡なのかも知れません。話が通じるのなら説明は要らないし、通じなければ説明は役に立たない場合が多いのです。お互いの理解はそういう意味で、恵みによってのみ可能であり、祝うべきことなのです。

（文学部専任講師・宣教師）

第164回ランバス演奏会

「ディヴィジョン&グラウンド&シャコンヌ」

ルネサンス、バロックのリュート歌曲のスペシャリストとして有名なデュオをお迎えして、チャペルコンサートを開催いたします。

平井満美子/ソプラノ

佐野 健二/ルネサンスリュート、バロックリュート

とき：5月12日(木)午後5時開演

ところ：ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)

<入場無料>

ランバスチャペル・ヌーンコンサート

お昼休みのひととき、学生音楽団体によるミニコンサートをお楽しみください

5月16日(月) 関西学院大学混声合唱団エゴラド

5月17日(火) 関西学院グリークラブ

5月24日(火) 関西学院大学交響楽団(弦楽アンサンブル)

5月30日(月) 関西学院大学交響楽団(管楽アンサンブル)

6月 9日(木) 関西学院聖歌隊

6月13日(月) 関西学院バロックアンサンブル

6月14日(火) 関西学院大学応援団総部吹奏楽部

6月16日(木) 関西学院大学ゴスペルクワイア "Power Of Voice"

いずれも12時50分~13時20分、ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)にて

CDライブラリー

宗教センター事務室には教会音楽に関するCDを備えています。本学学生及び教職員であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までどうぞ。

教職員・学生有志による日曜礼拝

授業期間中の第2第4日曜日に一部英語を用いるバイリンガル形式で礼拝が行われています。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

5月22日(日)

午前10時~11時 関西学院会館ベーツチャペル

使用済み切手収集にご協力ください

本学では、日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。記念切手、外国切手だけでなく、通常切手も対象としています。宗教センター常設の回収箱にお届けください。